

# 令和2年度の一般会計

☎ 財務課 ☎892-0121

今年度の一般会計予算は、269億8,150万1千円で前年度に比べて11億5,141万1千円、率にして4.5%の増となり、過去2番目の規模になっています。星田北・星田駅北地区の区画整理事業が本格化することや、幼児教育・保育の無償化に関する費用を計上したことが主な増の要因となっています。

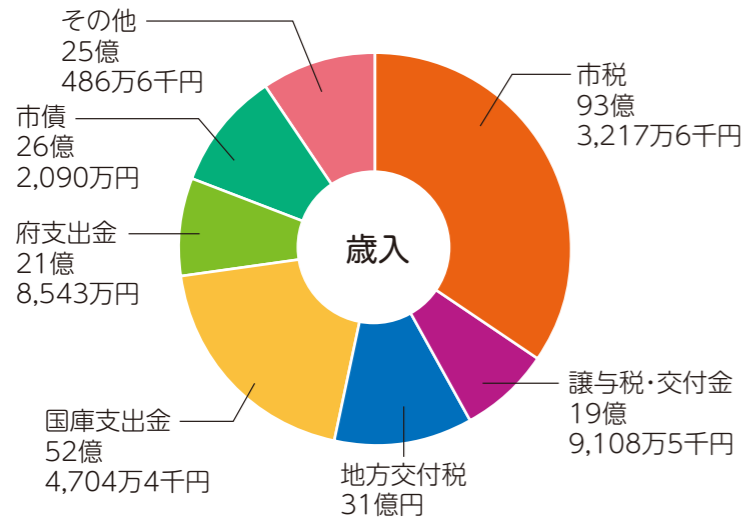
## 歳入予算の概要

前年度より市税が1億267万3千円、地方交付税が3,000万円の増加を見込んでいます。その他、社会保障経費の伸びや区画整理事業に関する交付金が見込まれることから、国からの支出金は、6億6,421万3千円の増加を見込んでいます。また、収支の不足に対応するため、基金(市の貯金)を15億257万4千円取り崩す予定としています。

## 歳出予算の概要

本市の魅力をも高めるために新たに策定された市長戦略に掲げている「子どもが元気に成長する環境づくり」、「支え合う健康・福祉のまちづくり」、「みんなで安全・安心なまちづくり」、「地域の活力と雇用を生む基盤づくり」、「未来へつなぐ環境づくり」を5つの政策の柱として着実に進めるため、重点的に予算配分を行いました。

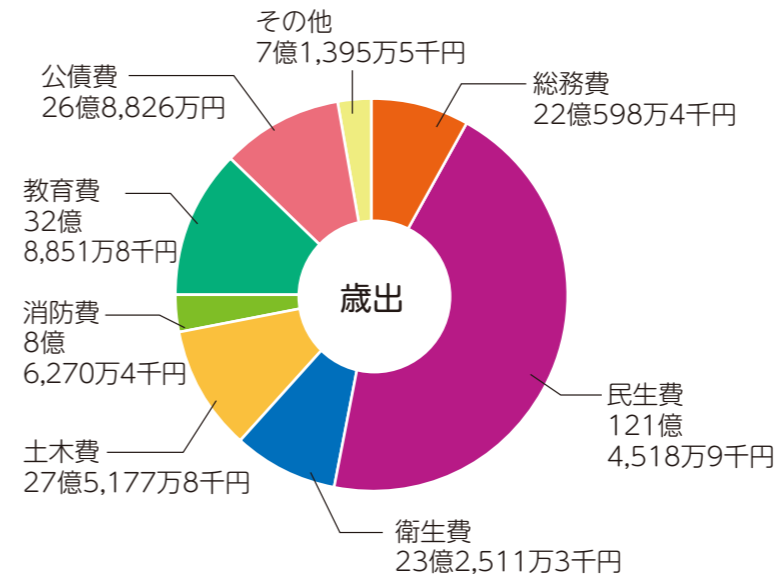
具体的には、星田北・星田駅北地区の土地区画整理事業に17億5,283万1千円、認定こども園の整備関連事業に5億3,931万6千円、魅力ある学校づくり基本設計等事業に1億3,000万円、蓄電池整備事業に2,310万円を計上しています。



項目	金額
市税	93億3,217万6千円
譲与税・交付金	19億9,108万5千円
地方交付税	31億円
国庫支出金	52億4,704万4千円
府支出金	21億8,543万円
市債	26億2,090万円
その他	25億486万6千円
<b>合計</b>	<b>269億8,150万1千円</b>

## 主な歳入の増減額

費目	増減額	増減理由
市税	8,447万5千円	個人市民税の増
	△5,220万6千円	法人市民税の減
	5,392万1千円	固定資産税の増
地方交付税	3,000万円	普通交付税の増等
国庫支出金	6億6,421万3千円	教育・保育給付費負担金の増等
繰入金	△8,291万9千円	基金の取り崩しの減
市債	4億3,529万8千円	土地区画整理事業債の増等



項目	金額
総務費	22億598万4千円
民生費	121億4,518万9千円
衛生費	23億2,511万3千円
土木費	27億5,177万8千円
消防費	8億6,270万4千円
教育費	32億8,851万8千円
公債費	26億8,826万円
その他	7億1,395万5千円
<b>合計</b>	<b>269億8,150万1千円</b>

## 部署別の主な事業

危機管理室	
蓄電池整備事業	2,310万円
福祉部	
高齢者・障がい者等外出支援事業	4,417万2千円
健やか部	
認定こども園等整備事業	5億3,931万6千円
ロタウイルスワクチン接種費用助成事業	904万円
都市計画部	
星田北・星田駅北地区土地区画整理事業	17億5,283万1千円
学校教育部	
魅力ある学校づくり計画策定事業	1億3,000万円
生涯学習推進部	
総合体育施設改修事業	3,050万円
消防本部	
消防指揮車購入事業	1,000万円

## 予算額

会計区分	今年度当初予算額 A	昨年度当初予算額 B	増減額 A-B	対前年度比 % A/B	
一般会計	269億8,150万1千円	258億3,009万円	11億5,141万1千円	104.5%	
特別会計	国民健康保険	79億9,942万6千円	82億7,140万1千円	△2億7,197万5千円	96.7%
	介護保険	58億8,892万7千円	59億2,507万2千円	△3,614万5千円	99.4%
	公共用地 先行取得事業	10億3,780万4千円	7億4,502万3千円	2億9,278万1千円	139.3%
	後期高齢者医療	15億1,490万2千円	12億9,900万5千円	2億1,589万7千円	116.6%
水道事業会計	39億821万2千円	32億5,645万6千円	6億5,175万6千円	120.0%	
下水道事業会計	22億2,814万5千円	23億5,056万4千円	△1億2,241万9千円	94.8%	
<b>総計</b>	<b>495億5,891万7千円</b>	<b>476億7,761万1千円</b>	<b>18億8,130万6千円</b>	<b>103.9%</b>	